



第 6 8 5 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会  
編集 三 好 治 雄  
発行人  
大阪市西区新町 1 丁目 5 番 7 号  
四ツ橋ビル  
TEL 06(6531) 9 7 1 7・5 9 1 0  
定価 1 部 60円



## 「平成23年の新春を迎えて」

財団法人 大阪府危険物安全協会  
理事長 三 好 治 雄

平成23年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

当協会の昨年の事業運営も順調に推移することができましたが、これも偏に皆様方の平素からの暖かいご厚情の賜物と心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、異常気象で自然災害が各地で頻発いたしまして大きな被害もたらされましたが、消防白書によりますと平成6年から右肩上がりだった危険物に係る火災事故・流出事故の件数が平成20年を境にして流出事故件数で減少の傾向が見られ、やっと平成21年より火災・流出事故件数とも減少に転じたのは喜ばしい限りであります。このことは消防関係機関や危険物関係事業所のご努力の賜物と理解いたしております。

とはいえ、危険物施設における流出事故件数は依然として高い水準でありまして、原因として腐食劣化によるものが約30%を占め、中でも地下貯蔵タンク等では半数がこの原因によるものと考えられています。量的に見ますと、地下で流出した危険物の量は地上でのものの約4.2倍と高く、流出した危険物による火災危険や環境汚染等が懸念されています。

このような情勢の中で、今後とも引き続き、消防機関や各種関係団体と緊密な連携を図りながら、危険物による災害防止に取り組んで行く必要があるかと考えております。

当協会といたしましては、時代の要請に応じつつ、具体的には、法定講習でもあります危険物取扱者保安講習と危険物取扱者受験準備講習の更なる充実に努めるほか、各施設の管理者等すべての関係者に対しまして、危険物に係る火災・流出・爆発事故の未然防止や安全思想の普及啓発など各種課題に鋭意取り組んでまいり所存であります。

平成23年も災害のない明るい年でありますよう、また、大阪府民が安心して暮らせるよう、役職員一同、心新たに当協会の使命達成に全力を傾注してまいりますので、本年も、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



## 平成23年（2011年）知事年頭所感

大阪府知事 橋下 徹

新年あけましておめでとうございます。

これまで、「変革と挑戦」を掲げ、懸命に府政運営に取り組んできました。本年はその総仕上げ、そして、大阪の将来を見据えた次なる第一歩を踏み出す時と考えています。徹底した改革を断行しつつ、あくまでも財政規律を堅持する。その上で、大阪の都市魅力の創造、大阪の成長に向けた施策への財源の戦略的重点配分を行い、「改革」と「成長」を府政の両輪として運営していきます。

特に、これから力を注いでいきたいのが、大阪の成長です。

アジアを中心とする新興国の経済が急速な成長を遂げているなか、日本が、世界の中、アジアの中で都市間競争にうち勝つためには、大阪のような大都市圏の再生を図り、日本全体の「成長」エンジンとしての役割を發揮させるようにすることが不可欠です。今置かれている現状としっかり向き合い、成長の道筋を描くため、「大阪の成長戦略」を策定しました。今後10年間の成長目標を掲げ、「環境や新エネルギー、バイオ等の高い技術力、研究開発力等を活かし、さらなる『高付加価値を創造する都市（ハイエンド都市）』と「阪神港と関西国際空港という二大国際インフラを最大限活用し、アジアと日本各地を結び『集積・交流・分配機能を發揮する都市（中継都市）』を目指す方向としました。危機感と将来の目標をオール大阪で共有することがねらいです。

国も、今、まさに、規制緩和や税制上の措置等を盛り込んだ「総合特区制度」の創設を準備しています。大阪府も、この戦略の中で、国際戦略総合特区など積極的な提案を行っています。新たな仕掛けや仕組みを国に提案し、どんどん実践していきたいと考えています。

こうした戦略を実現し、成長を持続させるためには、大阪産業の要である中小企業の振興が重要なカギです。アジア各国に対する日本の、また大阪の相対的な地位の低下の要因の一つに、産業の「グローバル化への対応の遅れ」があります。「グローバル化」は、もはや避けられない流れです。ですから、むしろ、「ピンチはチャンス」。中小企業等の皆様には、自らの強みを再認識し、技術を活かして新たな分野に果敢に挑戦するとともに、海外、とりわけ目の前に広がるアジア市場にもっと目を向けていただきたいのです。大阪府では、昨年、ものづくり総合支援拠点として「ものづくりビジネスセンター大阪（愛称：MOBIO〔モビオ〕）」をスタートさせています。また、テクノ・パートナーとして府立産業技術総合研究所もお手伝いします。これからは、「新分野に打って出る」「海外に打って出る」中小企業等の皆様に大いに応援していきたいと考えています。

もう一つ、「教育」。大阪の未来への投資です。私は、子どもたちへの教育に徹底してこだわってきました。予算成立をもって確定しますが、この春の入試から、私立高校等の授業料無償化を年収610万円未満世帯まで拡充します。また、年収800万円未満世帯についても、保護者負担が10万円に収まります。これにより、全体の7割にあたる大阪の子どもたちにとって、中学校卒業段階での学校選択の幅が格段に広がることになります。これは他府県に例のない大規模な支援策です。15歳でのワンチャンス。ボリュームゾーンと言われる中間層をターゲットに大阪全体の底上げにつなげたいというのが、私の思いです。また、大阪府教育委員会とともに立ち上げた「大阪教育会議」で、公立・私立双方にわたる教育課題について、方向性を協議し、考え方を共有していきます。そして、子どもたちにとって一番大切な義務教育。府内の市町村と協議を重ね、府教委と市町村の首長・教委の役割を明確化したいと思っています。府教委は「目標を設定」し、市町村教委は住民に「成果を公表」。このことを通じて、大阪の義務教育の水準を着実に向上させていきたいと考えています。

「出先機関改革」や「補助金等の一括交付金化」など、国のかたちを改めていく議論が本格化していますが、その基本は、国と地方の役割分担を明らかにし、権限・財源・責任の所在を一致させることです。地域の責任と判断で、実情に応じたサービスを住民に提供できるようにするのです。昨年12月、関西広域連合が始動しました。都道府県同士での広域連合は全国初となります。国の権限移譲の受け皿として最大限に活用し、本年を、地域主権改革を大きく進める年にできればと考えます。

皆様の一層のご理解とご協力をお願いしますとともに、本年が皆様にとって実り多いすばらしい年となりますよう心からお祈りします。



## 新年を迎えて

大阪府下消防長会  
会長 岡 武 男

平成23年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、大阪府下消防行政の各般にわたり、深いご理解と温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の災害状況を顧みますと、国内では、6月から7月にかけて梅雨期の大雨が全国各地で大きな爪痕を残し、また、10月の奄美地方における集中豪雨では高齢者施設などに痛ましい被害を生じさせました。

一方、海外では、南米チリ中部沿岸で発生した巨大地震により、大規模な津波が発生しましたが、この地震は1960年に三陸海岸沿岸に6mの津波を到来させ142名もの犠牲者を出したチリ地震を想起させ、災害がグローバル化する中で、災害の恐ろしさを伝承し、防災対策を喚起し続けることの重要性を再確認したところです。

このような状況を踏まえ、消防機関といたしましては、近い将来に発生が危惧されている東南海・東海地震での被害の軽減を図るため、防災に関する広報活動や教育の推進、防災教育施設の整備、防災訓練の実施などにより、市民の自主防災意識の高揚と防災行動力の向上に努め、災害に強い安全な都市の構築を図っております。

また、危険物施設の事故に目を向けますと、昨年、国内では特筆すべき甚大な被害をもたらす災害は発生しておりませんが、海外では4月に、メキシコ湾深海油田で史上最悪の原油流出事故が発生しました。78万キロリットルに及ぶとも伝えられるこの流出事故の原因は、機械の故障のほか、作業員の人為的なミスなどが複合して起きたものと考えられています。流出した原油の回収作業が現在も行われているところですが、漁場や海洋生物を脅かすという莫大な被害をもたらすと同時に、まだ被害状況が確認できていない環境や生態系等への影響は計り知れません。

一方、私達が生活を営む都市では、わずか数十リットルの流出事故であっても、地域社会に大きな被害をもたらす恐れがあります。施設や設備のハード面の充実だけでなく、危険物を取扱う人の安全管理の徹底や防災教育の推進などソフト面の充実を図り、自らの事業所や地域は自らが守るという自主防火・防災への取組みがますます重要となってきています。

大阪府下消防長会といたしましても、事事例などの情報の提供、共有化を積極的に推進してまいりますので、各事業所における自主保安体制の更なる充実に向けて、より一層のご尽力並びにご協力をお願いいたします。

結びに、本年が災害のない平和な年となりますよう、また、皆様方のご事業のますますのご発展とご健勝を心より祈念申し上げます。



## 新年を迎えて

財団法人 全国危険物安全協会

理事長 木下英敏

平成23年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

(財)全国危険物安全協会は、設立以来、関係行政機関のご指導や(財)大阪府危険物安全協会の皆様をはじめとする都道府県危連のご支援により、順調な発展をたどってまいりました。この機会に改めて皆様方に対し心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月に発生したメキシコ湾原油流出事故は記憶に新しいところです。安全対策や事故発生後の対応の甘さから甚大な被害となり、危険物に係る事故の恐ろしさと危機管理の重要性を改めて痛感したところです。

さて、皆様ご存知のとおり、昨今の政府系公益法人を取り巻く環境は大変厳しい状況にあり、内閣府の行政刷新会議における事業仕分けが行われ、幸い当協会は対象にならなかったものの、仕分け対象外の法人を含めた横断的な事務事業の見直しが求められています。また、新公益法人改革に基づく移行につきましても、現在、監査法人を交えて検討しているところです。

このような状況の中、当協会といたしましては、事務事業の見直しを図りながら、新年度において次のような事項を中心に事業を積極的に展開して参りたいと存じます。

第一は、当協会において最も重要な事業である危険物に関する安全思想の普及啓発であります。危険物安全週間の推進を最重点に、広報資料の配布、研修会の実施等について積極的に行っていく所存であります。

第二は、公益事業基金に係る助成事業であります。都道府県危連が実施する危険物の安全対策に資する普及啓発事業を始めとする各種事業に対して助成を行ってまいります。

第三は、危険物施設の定期点検制度の充実強化であります。近年の地下タンク等からの漏えい事故増加に鑑み、漏えい事故の未然防止を目指し、定期点検技術者講習の内容を充実させ、認定事業者による定期点検のレベルアップに努めてまいります。

第四は、危険物取扱者の法定講習等に対する支援協力であります。講習レベルの維持向上を図るため、講習用テキストの改訂や視聴覚教材の整備など、保安講習用教材の充実強化を図ってまいりますとともに、法定講習の講師に対する研修会を開催してまいります。

第五は、鋼製地下タンクFRP内面ライニング施工事業者認定制度についてであります。本年2月1日に施行される既設の地下貯蔵タンク等に対する流出事故防止対策により、本制度はますます重要な位置づけとなっております。消防庁の指針に基づく適正な施工事業者の認定の徹底及びその施工技術のレベルアップを図り、漏えい事故防止に貢献してまいります。

第六は、危険物施設の安全対策に重点をおいた調査研究であります。平成22年度は、既設の地下埋設配管等の腐食の評価手法の調査研究、セルフスタンド等における適正な定期点検のあり方の調査研究を実施してまいりましたが、平成23年度も引き続き危険物施設の災害の未然防止を目的とした調査研究に積極的に取り組んでまいります。

第七は、危険物事故防止対策推進のための消防機関支援事業であります。消防機関の行う危険物施設における危険物流出等の事故の原因調査に係る研修会を開催するほか、危険物施設の立入検査を行う全国市町村消防職員のための「定期点検指導マニュアル」を製作し、危険物施設の事故防止対策について取り組んでまいります。

私共役員一同は、都道府県危連、地区協会と力を合わせ危険物の安全対策を推進する組織として、消防行政の中で一定の役割を与えられた団体として、中立公平で高度な技術を備えた専門調査研究機関として、一層皆様方のお役に立てるよう全力を傾注して参りたいと存じます。今後とも、皆様方のご指導、ご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

**合格への近道!**

第 5 回準備講習会 1月27日～2月14日  
平成22年度第 5 回試験は平成23年 2月20日(日)、国立大阪大学で実施されます。

**願書受付**

書面申請 (郵送又は持込)  
1月5日(水)～12日(水)  
電子申請 (インターネット申請)  
1月2日(日)9時～9日(日)17時

**問合わせ・願書提出先**

(財)消防試験研究センター大阪府支部  
〒540-0012 大阪市中央区谷町2-9-3  
ガレリア大手前ビル 2F  
TEL 06-6941-8430

当協会では上記の試験に合わせて甲種、乙種第 4 類及び丙種の受験準備講習会を大阪・堺市内で下記のとおり行なう予定です。準備講習会では過去に出題された問題や傾向を詳細に分析し、経験豊富な講師陣による的をしばった、分りやすい講習です。

**第 5 回 受験準備講習会**

種 別	講習日	時 間	会 場	
甲 種	2月2日(水) 2月4日(金) 2月8日(火)	10時～16時30分	大阪府商工会館	
乙 種	1 コース	2月7日(月) 2月8日(火)	天満研修センター	
	2 コース	2月9日(水) 2月10日(木)	大阪府商工会館	
	3 コース	1月27日(木) 1月28日(金)	堺 市 民 会 館	
	第 4 類	土曜コース	2月5日(土) 2月12日(土)	天満研修センター
		日曜コース	2月6日(日) 2月13日(日)	天満研修センター
		土日 A コース	2月5日(土) 2月6日(日)	天満研修センター
土日 B コース	2月12日(土) 2月13日(日)	天満研修センター		
丙 種	2月14日(月)	9時30分～16時30分	四 ツ 橋 ビ ル	

- ① 各準備講習会場とも初日は開講時間の15分前からガイダンスを行ないます。  
② 諸般の事情により変更となることがあります。

**お申込みは郵送(郵便払込)又はインターネット(銀行振込)で**

**1. 受講申込方法**

- ① 郵送によりお申込みされる場合
  - a 受講申込書「合格への近道!」を、大阪府下の所轄各消防本部及び各消防署予防課でもらって手続きください。
  - b 当協会(電話06-6531-9717)に直接ご請求いただければ送付いたします。
- ② 持込でお申込みされる場合
  - a ご希望の講習日(各コースの初日)の前日まで当協会事務所(大阪市西区新町1-5-7、四ツ橋ビル 8F)で受付いたします。  
(ただし、土・日及び祝日は業務を行なっておりません。)
  - b 申込手続は代理の方でも結構です。
- ③ インターネットでお申込みされる場合  
当協会のホームページを利用してください。  
「大阪府危険物安全協会」で検索できます。

**2. 申込期間**

- ① 常時受付しています。  
ただし、ご希望の講習日(各コースの初日)の1週間前までに当協会必着でお願いします。
- ② 各講習会場とも定員制のため、満席の場合は受付できませんのでお早めにお申込みください。

**3. 受講料及びテキスト送料**

- ① 受講料(消費税を含んでいます。)

・甲 種	会 員	会 員 外	
	16,800円	18,900円	
・乙 種 第 4 類	コース別	会 員	会 員 外
	1～3 コース	12,600円	14,700円
	土日コース	13,650円	15,750円
・丙 種	会 員	会 員 外	
	6,300円	7,350円	

**地下貯蔵タンク等の漏れの点検はお済みですか?**

～平成16年 4月 1日 法令改正施行～

地下に埋設されたタンクおよび配管の腐蝕を発見することは大変難しく、もし、発見が遅れば大量の漏えい事故につながります。地中に拡散した油等の、回収はとても困難であり、タンクを掘り起こし周囲の土をすべて入れ換えざるを得ない場合もでてきます。このようなことから「地下貯蔵タンクおよび地下埋設配管に係る定期点検(漏れの点検)」の基準が見直され施行されることになりました。



OIL & MAINTENANCE  
**山田 砥油株式会社**

〒578-0912 東大阪市角田 1 丁目 8 番 26 号  
Tel. 0729-62-4777  
Fax. 0729-62-4778  
<http://www.ymd-o.co.jp>

各種燃料油販売/危険物施設工事/危険物施設法定点検/危険物貯蔵所等中和洗浄工事/廃油スラッジ等処分

- ① 受講料にテキスト送料を加えて払込んでください。
- 2 財団法人大阪府危険物安全協会加盟協会会員(会員事業所の社員を含む)は会員価格となります。
- 3 大学、高校及び各種専門学校(の学生については学生割引として受講料は会員価格にいたします)
  - ・学生証のコピーを受講申込書に添付して送付してください。
  - ・持込み受付される場合は、申込み時に学生証(コピー可)を提示してください。
- 4 詳細につきましては、06-6531-9717までお問合せください。
- 5 申込終了後、理由の如何を問わず返金はいたしません。

② テキスト送料

甲種及び乙種第4類	1人分	500円
	2～5人分	600円
	6～10人分	800円

丙種	1～6人分	500円
----	-------	------

平成22年度は下記の第4期分をもって終了となります。  
平成23年度の保安講習は6月下旬から開催の予定ですので受講期限の迫っている方はこの機会に受講下さい。

受講手続きは

保安講習開催案内(受講申請書など)は府下消防本部及び各消防署(予防課又は予防係)に置いてあります。  
また、日程等の案内は当協会HPで閲覧できますし、申請書もプリントすることができます。

第4期(22年度最終期)

郵送受付期間 1月19日(水)より

持込受付期間 1月20日(木)と21日(金)

一般の部					
回	実施日	曜日	講習会場	開始時間	
4期	56	2月1日	火	大阪府商工会館	13:30
	57	2月2日	水	東大阪市民会館	13:30
	58	2月3日	木	東大阪市民会館	13:30
	59	2月8日	火	豊中市消防本部	13:30
	60	2月9日	水	*堺市民会館	13:30
	61	2月15日	火	大阪府商工会館	13:30

- 注
1. 諸般の事情により変更となることがあります。
  2. 各会場とも駐車場は使用できません。  
ただし、会場欄中\*印は有料駐車場があります。
  3. 講習時間は3時間です。

(問合せ先) (財)大阪府危険物安全協会  
電話 06-6538-1935

危険物取扱者保安講習について

危険物関係事業所等で危険物取扱者の免状所持者が危険物の取扱作業に従事している場合は、定められた期間内(原則として3年以内毎)に保安講習を受講しなければなりません。(法第13条の23)

鋼製地下タンクFRP内面ライニング施工事業

鋼製地下タンク内面の腐食、防食措置としてFRPライニングの技術が実用化されてきています。当社では、FRPの持つ高度な耐食性に着眼し、使用される環境に応じて、最適な材料設計と構造設計を行います。  
皆様のお使いになる設備の長寿、安全化に貢献し、その加工技術は多方面から高い評価を受けています。老朽化に伴った腐食、劣化が進み、危険物の漏えいによる土壌及び地下水の汚染等の被害を未然に防ぐ為にお勧めします。

※仮設タンク常備の為、ボイラーを止めずに工事を行えます。

事業者認定番号 ライニング第2701号

有限会社 三協商事

その他、危険物施設施工工事・危険物施設法定点検・危険物貯蔵所等中和洗浄工事及び廃止工事・産業廃棄物収集運搬業



大阪府大阪市港区弁天6丁目5番40号  
TEL 06-6577-9501 FAX 06-6572-8058  
http://www.e-sankyoshoji.co.jp

高精度油面計装置 (EECO)



- 装置の特徴：
1. 常時監視設備装置
  2. ネット残油量表示(15℃)
  3. 自動水検知量表示
  4. ローリー荷卸自動検知
  5. 販売出荷レポート
  6. パソコン管理システム

(財)全国危険物安全協会  
認定番号12-13号

常時監視装置は常に地下タンクの漏れの監視を行い、土壌汚染を未然に防止します。

業務内容

地下タンク漏洩点検、地下タンク埋設工事、地下タンク内清掃、ガソリン計量機の検定・整備・販売、給油機・メーター・ノズル機器等の販売、危険物施設の油配管設備工事、危険物の保安点検、各種の巡回清掃、危険物の各種消防手続、給油所の機器販売、地下タンク計測機器販売  
\* 地下タンク点検の液相部・気相部の漏洩点検装置も販売しております。

ISO 9001 取得  
http://www.nssk.co.jp/

日本スタンドサービス株式会社  
〒578-0911 本社/大阪府東大阪市中新開2-11-17  
TEL: 0729-68-2211 FAX: 0729-68-3900

## 安全への道 114

## 新年にあたって

財大阪府危険物安全協会  
専任講師 三村和男

円高など経済不況の出口が見えにくい状況下、さらに政権交代で激動する中、新しい年を迎えた。

近年、企業の安全確保に対する社会的責任(CSR)は一層厳しくなっている。

ヒドロキシルアミンの爆発事故(2000年)のように、ひとたび、重大事故を起こせば、企業の存続が危なくなる。

危険物施設における火災・漏洩事故は、ここ3年間減少傾向にあるが、この間に4件の重大事故(メチルセルローズの粉体爆発、ナフサ分解設備の火災など死者8人、重軽傷者19人)が発生している。

新年にあたって、安全に対する経営者の姿勢と役割、現場管理者、一般従業員について再考してみたい。

経営者一自社の安全確保とリスクの低減は、基本的責任である。同時に、地域社会の要請に応えていかねばならない。

そのためには、安全に対する理念(考え方)とその実現させるための活動方針を明確かつ文章化して、全従業員に理解させ、従業員が推進する安全活動を目に見える形で支援していかねばならない。(予算措置、人材育成と適正配置、安全査察など)

経営者は、定期的に事業場・工場の安全査察を行って、安全活動状況、目標達成度、包蔵する問題点など現場の実態を把握する必要がある。そしてよい成果については褒める、問題点については、解決のための助言をし、活動の活性化を促す。

この査察は、既に多くの企業で実施、定着しているようである。しかし、形式化、マンネリ化の声もある。言い換えると、査察にかける人と時間は決して少なく、相当のコストがかかっているはずである。査察本来の目的を達成させるため見直しもしていかなければならないだろう。

現場管理者—事業場 工場における安全管理の統括責任は事業場長にあるが、実行責任はラインの管理者

にある。経営者、工場長の安全理念、活動方針を踏え、現場の実態に即した具体的な活動計画を策定し、実行していく責任がある。責務を遂行していく上で、次の点を強調しておきたい。

- 活動方針、計画について、その狙いとするところを全員に理解させ、安全は一人ひとりの仕事であることを徹底させる。
- 活動のマンネリ化は、管理者のマンネリ化ととらえるべきである。部下のせいにはしない。
- 決めたことを愚直に守らせるには、ルール違反を見逃してはならない。部下は「黙認は同意」であることをすぐに見抜くから怖い。ノウハウ教育を強化する。
- 小さなトラブル(危険)を大きくとりあげ、小さな成果を大きく評価して、安全への動機づけを図る。対策の評価は、数値化できないもの、つまり目には見えにくい意識の変化を把握することも必要であるが、意外とできていないようで、管理者の工夫の余地がある。
- 設備、機械、作業等の危険源とその評価、事故につながる可能性、つまりリスク管理の徹底が必要。たとえ1万円のリスクといえど、1つでもリスクを減らすという意志を持つべきである。思いは力となる。

一般従事者— 次の点を実施すべきである。

- 原理原則を理解し、操作・作業の基本を忠実に実行する。
- 決められたルールを遵守する。
- 旺盛なる問題意識を持って、積極的に安全提言する。またミスなど不具合情報を隠してはならない。

安全への特效薬はないといわれるが、トップ、管理者が安全について、大きな関心を持って、それを行動で示すことが特效薬である。

現場の安全意識レベルは、管理者の意識レベルで決まるであろう。それを超えることは難しく、それほど影響力が大きい。今年も無災害を目指そう。

センリョウ  
(センリョウ科)



花言葉: 価値

### 安全研修会開催案内

財大阪府危険物安全協会及び大阪市危険物安全協会では、下記のとおり安全研修会を開催する予定です。参加ご希望の方は、地区協会又は下記までご連絡ください。

- ◇と き 平成23年2月24日(休) 14時～16時
- ◇と ころ KKR ホテル大阪 3階「銀河」
- ◇演題・講師 「事故に学ぶ危険物のリスク管理」  
横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授 三宅 淳巳 氏

#### 講師プロフィール



1982年3月 横浜国立大学工学部安全工学科 卒業  
 1984年3月 同大学 大学院工学研究科修士課程安全工学専攻修了  
 1992年3月 工学博士 (横浜国立大学)  
 2000年4月 横浜国立大学工学部 助教授  
 2006年4月 横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授 現在に至る

#### 専門分野

安全工学、化学物質の発火・爆発特性解析、化学プロセスのリスク解析、技術システムのリスク管理

安全工学会 (理事, 学術委員長)、火薬学会 (理事, 編集委員長)、日本法科学技術学会 (評議員) など、数多くの学会に所属されておられます。

〒550-0013 大阪市西区新町1-5-7 四ツ橋ビル8F  
 共催 (財)大阪府危険物安全協会・大阪市危険物安全協会  
 電話 06-6531-9717・6531-5910 E-mail: aav74830@hkg.odn.ne.jp

## 都市との共存 — 正確 安全 確実 — 危険物設備なら信頼の技研。

**危険物タンクの漏洩検査**  
(平成16年4月1日法改正対応)

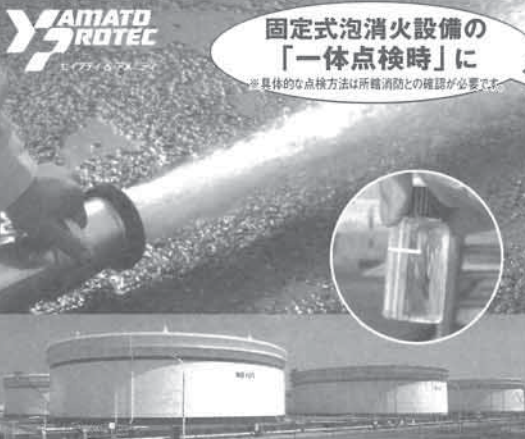
- 危険物設備の設計・施工
- 発電設備(非常用)燃料タンクの製造・販売
- 危険物タンクまわりの付属機器の販売

危険物設備の安全をトータルにリードする

株式会社 技研

〒663-8113 兵庫県西宮市甲子園口2-24-12 TEL.0798-65-5100(代表)

# GIKEN



固定式泡消火設備の  
 「一体点検時」に

\*具体的な点検方法は所轄消防との確認が必要です。

**もしも…! 泡薬剤を放出せずに  
 泡消火設備の点検ができれば…** 特許出願中

泡消火設備 放射点検用の試験液体



エコブルーを使用することにより泡消火薬剤の混合比率を測定することができ、泡消火設備の健全性を確認することができます。

環境にやさしく  
廃棄物ゼロ

短時間での  
点検実施

点検の実施が  
非常に簡単

泡消火設備の  
性能を  
適正に確認

ヤマトプロテック株式会社 [www.yamatoprotec.co.jp](http://www.yamatoprotec.co.jp)

本社 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)3446-7151(代)